

Unit Design バージョンアップ情報
以下のバグ・ご要望について修正を行いました。

2018/2/1	ライセンス更新	V7.4
	リアスライダ100・200・300、リアスライダ用キャップ追加。	V7.4
	ナット付キャスターの英語品名一部修正	V7.4
2017/3/22	SF30・30フレームの端面へネジ軸キャスターが付けられない不具合修正	V7.31
2017/2/1	ライセンスの更新	V7.3
	GFアルミホルトコネクタ5種追加	V7.3
	GFE-017 GFライトユニット 32W削除	V7.3
	GFカタロクNo.6 P65 ネジ軸キャスター4種新規Itemと置換え	V7.3
	GFカタロクNo.6 P66・67 フレームキャスター5種新規Itemと置換え	V7.3
2016/2/1	ライセンスの更新	V7.2
2015/2/1	ライセンスの更新	V7.1
2014/2/24	アジャスタキャスタコマンドでフルダウン選択時強制終了修正	V7.01
	ユニットライブラリ 12FrameBoxでフレームキャップが選択できない箇所修正	V7.01
	ユニットライブラリ ホードリフターをクリックすると強制終了を修正	V7.01
	コネクタコマンドのその他へダブルコネクタCキット追加	V7.01
	すべての部品コマンドのダブルコネクタCキット不具合修正	V7.01
2014/2/1	721点の新商品追加	V7
2013.02.01	フレームへコネクタ接合コマンド作成	v6
	部品交換コマンド作成(同一のサイズの置き換えができる。)	v6
	コネクタRを使用したフレームの回転コマンド作成	v6
	端面タップ化工事に、「L」「R」を表示する	v6
	パネルをブラケットで固定して作成するとき、フレームがない辺は間に挿入する部品をつけない。	v6
	パネル作成(ブラケットタップ止めパネルのホルト選択変更)	v6
	パネル作成(フレーム外あてパネルのクリアランス変更)	v6
	トビラ作成(パネルガード付き扉の板ナット使用時ホルトの長さ変更)	v6
	φ75キャスターをGF-Lスロットに付けるときのホルトナットの選定	v6
	SF80.2S2F,SF-80.2S.1Fにフットベース作成、	v6
	ジョイント接合(接触面)でQCジョイントS・SSのキャブ外寸内作成不可にする	v6
	GFインナーコネクタの干渉チェック(100mm以下にフレームをカットした際、メッセージを出す)	v6
	マルコネクタロンク 部品修正(軸線追加・寸法変更)	v6
	パネル作成(皿/キリ関連ホルト候補選択)	v6
	アジャスタキャスター作成(フットコネクタM12の追加)	v6
	F35のパネル作成	v6
	加工番号の修正(SF50.100)	v6
	汎用キャスタープレートホルトナット付の作成	v6
	加工番号、タップ加工の修正(長方形フレーム+TGジョイント)	v6
	汎用接合TOP画面に注記を追加	v6
	ブライトブラケット単品を「すべての部品」から非表示化	v6
	ライセンス発行時にバージョンが分かるよう、IDの頭へバージョン表示	v6
	部品表置換(パネル情報の図面への反映)	v6
	部品加工(GF-F35、F50、CR3の仕様変更)	v6
	パネル作成(パネルフィックス20角、5mパネルは作成不可に変更)	v6
	コネクタ接合(Wフレームへのインナーコネクタを取り付けやすくする)	v6
	トビラ作成(抜き差し蝶番SS、樹脂トビラを作成不可へ変更)	v6
	加工指示ダイアログへ注記を表示	v6
	言語変換(SF2-30.60)	v6
	トビラ作成(マグネットキャッチのフレーム上面への取り付け)	v6
	17mmホード取り付けホルト変更	v6
	パネル引戸のインナー取手切抜加工変更	v6
	コネクタ作成コマンドのデフォルト候補を変更	v6
	塩ビ、グレースモーク・ブラウンモークのItemNo.をSFZへ変更	v6
	デフォルトの印刷サイズをA4へ変更	v6
2012.07.31	Windows7/Vistaの環境対応	Ver.5.3
2012.02.16	ユニットライブラリのジョイント・ブラケット選択箇所修正(TOPの部品しか選定出来ない→選定可能へ)	Ver.5.21
2012.02.01	ライセンスの更新	Ver.5.2
2011.02.01	ライセンスの更新	Ver.5.2
	GFアジャスタキャスタコマンドでLスロットへの自動取り付けが行える。(Lスロット間隔は手動)	Ver.5.1
	GFK-803,GFK-802のインハ外ホルタキットの形状修正	Ver.5.1
	SFアジャスタキャスタコマンドでSF30でSFK-920.Rを選んだとき正しく組み立てられる。	Ver.5.1
	SFブラケット追加コマンドでステンレス・タップ無しを選んだときにブライトブラケットが表示される。	Ver.5.1
	図枠・アイコンの変更	Ver.5.1
2010.02.01	ライセンスの更新	Ver.5.00
	SF30フレームトビラに取手A取付の時、フレーム加工指示修正	Ver.5.00
	レイアウト図、加工図、カバー図でShiftを押しながらドラッグして拡大・縮小出来る。	Ver.5.00
	複数部品の行を開き、特殊加工のまとめ、特殊加工文字列の変更を行える。	Ver.5.00

Unit Design バージョンアップ情報
以下のバグ・ご要望について修正を行いました。

2009. 07. 22	グループ化のコピー&ペーストで接合がコピー出来るよう修正	Ver.4.08
	45°コネクタインナー型を各コマンドに追加。	Ver.4.08
	ブラケット作成コマンドでアシスタブラケット追加。	Ver.4.08
	ターンブラケット間フレーム作成コマンドで選択項目にSF2シリーズ追加。	Ver.4.08
	パネル作成コマンドで既存のパネルをそのまま適用する際の枠の大きさチェック誤差考慮。	Ver.4.08
	ブラケット作成コマンドでアシスタブラケットM12が候補に表示されるよう変更	Ver.4.06
	各アシスタブレードDCをコマンドにて選定できるよう変更。	Ver.4.06
2009.04.14	SF60フレームに外宛てパネルを取り付けられるよう変更。	Ver.4.06
	2009.04.14	
	スペースキーを使用し、面選択する場合のキャップコマンドエラー修正。	Ver.4.05
	コロンエコミタイプ部品の品名変更。	Ver.4.05
	定尺コロンを汎用部品作成コマンドで作成可能に変更。	Ver.4.05
	2コネクタ間にGFフレーム作成コマンドにマルチコネクタアウター型Wを追加。	Ver.4.05
	パネルを裏側から取付けた場合、選択可能に修正。	Ver.4.05
2009.02.16	樹脂フレームピラの蝶番を下端に取りつける際、フレームと重なる場合はエラーメッセージを表示。	Ver.4.05
	V3.9で書いたパネル・ピラ名で、文字枠が文字と一致していない場合、パネル・ピラ名を再描画コ	Ver.4.05
	枠内に表示できるよう修正。	Ver.4.05
	2009.02.16	
	新商品SFシリーズ・GFシリーズ追加(No.10カタログ分)	Ver.4.04
	パネル作成コマンドの「その他」を削除。(カタログに記載されている以外のパネルは使用出来ません。)	Ver.4.04
	GFシリーズ、ホールドホルダFの下限値100mmに設定。	Ver.4.04
	GFシリーズ、コネクタ追加コマンド追加。	Ver.4.04
	GFシリーズ、フレームキャップコマンド追加。	Ver.4.04
	GFシリーズ、コロンコマンド内容修正。(エコミタイプ追加・最初と最後のコロンフック選定可)	Ver.4.04
	SFシリーズ、パネル取付時のホルダ長さ選択を自動化。	Ver.4.04
	SFシリーズ、ダブルジョイントを角に取りつけるとき、偏芯ナットを使用するよう修正。	Ver.4.04
	CPシリーズにアングル・チャンネル・スクエア・ブラケット材を追加しました。	Ver.4.04
	平面図を各々作成した後、グループ化が可能。	Ver.4.04
	件名のフォントサイズを変更出来るようになりました。	Ver.4.04
図面化した時のパネル名の表記の仕方を増やしました。	Ver.4.04	
パネルのItem化に伴いパネルの表記方法を変更し、部品表の項目を増やし加工No.表を削除。	Ver.4.04	
部品表の列数変更可。	Ver.4.04	
図枠の変更・サイズA4→A3	Ver.4.04	
2008. 03. 21	SF3030 3Fの時のタップ加工サイズ修正	Ver. 3. 8
	SF、GF専用ツルハの表示・非表示メニューを表示させるよう修正	Ver. 3. 8
	拡大図を作成したとき、拡大箇所を示す円が適正な箇所にできるよう修正	Ver. 3. 8
	3Dモデルを変更後にXボタンを押した後「保存しますか」と聞いてきたとき、「はい」を押すと部品表を更新し、図面に反映した後終了するよう修正。	Ver. 3. 8
	SFZパネルの加工NO表を出力する。(ピニールシート、ユーザー定義のパネル)	Ver. 3. 8
	ブラケットパネルの場合、加工を定義しても加工加工NO表で“切断のみ”と表示されていたのを切抜加工を行うと加工が“特”になるよう修正。	Ver. 3. 8
2007. 01. 18	ホールドホルダFとホールドホルダを同じフレームにつけようとしたとき、警告を出す。	Ver. 3. 7
	部品加工コマンドで、パネルフレームに対しても加工を追加できるようにする。	Ver. 3. 7
	ItemNo. SFF-A174のフラットT2を、20mmではなく15mmに修正。	Ver. 3. 7
	パネルフレームピラ作成時、パネルフレームの加工NOがでるよう修正。	Ver. 3. 7
	取手の加工をおこなったとき、加工図が出るよう修正。	Ver. 3. 7
	ライセンス許諾書の有効期限が6ヶ月を365日に変更。	Ver. 3. 5
	図名称英語化 (Front View、Rear View)	Ver. 3. 5
	解像度に依存せずに印刷可能。	Ver. 3. 5
	パネルの材質・色の英語化	Ver. 3. 5
	GFN-E05 Gフレーム用フットコネクタの形状を変更 (Gフレーム断面と同一) 干渉するため。	Ver. 3. 5
	スタンドコネクタ (GFJ-A36) のコネクタの接合までの高さが20.5mm	Ver. 3. 5
	部品表ウィンドウで品名の言語切り替え (日本語から英語、英語から日本語)	Ver. 3. 5
	加工指示図でQCジョイントのための挿穴には“QC”と表記。	Ver. 3. 5
	GFシリーズ・機能を追加しました。	Ver. 3. 4
	一括印刷が出来るようになりました。	Ver. 3. 4
データ毎になっていたDXFが、一枚の図面として生成されるようになりました。	Ver. 3. 4	
レイアウト図作成で、表示状態を選ぶことが出来るようになりました。	Ver. 3. 4	
芯寸距離・角度測定が出来るようになりました。	Ver. 3. 4	
汎用接合の改善をしました。	Ver. 3. 4	
縞鋼板ヘザグリ穴の対応を追加しました。	Ver. 3. 4	